



おくはら ゆめ/作
ゴブリン書房
2011年 ¥1400

やきいもするぞ

やきいもが大好きな森の仲間たち。おなかいっぱい食べた後は、おなら大会の始まりです。一番良いおならをするのは誰？飛び入り参加する“あの人”が、どのページから登場しているのかを探するのも楽しい！



五味 太郎/さく
文化出版局
1977年 ¥600

かくしたの だあれ どうぶつあれあれえほん

かわいいどうぶつの絵の中に身近なものがかくれんぼ。こんなところにあっただ！と盛り上がることうけあいです。大人も子供も楽しめます。

きらきら

とっても小さくて、とってもきれいで、なんだかおいしそう、雪の結晶。自然のふしぎが生み出す、いろいろな形のきらきらと、そこから生み出された優しいことばとを一度に楽しめる写真絵本です。



谷川 俊太郎/文
吉田 六郎/写真
アリス館
2008年 ¥1000

そうのボタン

字がない絵本。そうさんにはボタンがあるんです。ボタンをあけてみると、そこから…！？『ねずみくんのチョコッキ』が好きな人にはたまらない！あわせて読んでもおもしろいです。



うえの のりこ/さく
富山房
1975年 ¥900



浜田 廣介/作
いもと ようこ/絵
金の星社
2005年 ¥1400

たぬきの ちょうちん

何か一つ出来ることがあればいい。おじいさんタヌキが子供の頃に教わり、誰かの役に立ちたいと提灯に化けたことを、孫に話して聞かせます。それを聞いた孫のタヌキも、提灯に化けたいと思い…。誰かの喜ぶ顔を思う、慈しみの絵本です。

現在購入できる版の出版年を掲載しています。
価格は2021年2月現在の本体価格です。

掲載については出版社の許諾を待っています。
無断で転載することを禁じます。



2021年3月発行
大洲市立図書館



図書館司書
おすすめ

子供とともに 本をひらこう 未来のページ
(「第2次大洲市子供読書活動推進計画」より)

にゅうようじばん
乳幼児版

うちどく絵本リスト



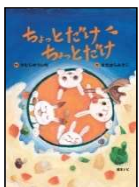
毎月第3日曜日は“うちどくの日”

「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。
「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！



●うちどくをはじめると、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。そこで、図書館司書が家族で読んでほしい絵本をおすすめします。



きむら ゆういち/さく
まへはら あきこ/え
絵本ナビ
2019年 ¥1300

ちょっとだけ ちょっとだけ

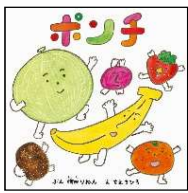
「ちょっとだけ」兄弟みんながシチューを一口ずつつまみ食い。テーブルクロスにポタッとシミが増えていき、気づくとシミだらけ！さあ、どうする？みんながちょっとずつできるお手伝いをがんばる姿がかわいい、家族の絆が深まるお話。



刀根 里衣/著
NHK出版
2018年 ¥1300

ぼくの ばしょなのに

ペンギンのククーにとって、パパとママのお腹の下は自分だけの大切な場所なのに、新しい卵にとられてしまいました。お兄ちゃん・お姉ちゃんになっても、かわいい子供に変わりはないんだよと伝えたい、ペンギン家族のほっこりする物語です。



織田 りねん/ぶん
ちえちひろ/え
パイインターナショナル
2018年 ¥900

ポンチ

みかん、キウイ、ぶどう、バナナ…いろいろなくだものが、「ポンチ」ということばとともに変身！ナンセンスでゆかいな世界を、おとなも子供も一緒に楽しんじゃいましょう。ところで「ポンチ」っていったいなに？

みんなでたのしむ まよいみち

ひとりでが一筆書きや迷路、あやとりなどをもとにしているまよいみち。昔の瓦の模様の中にも見つけることができるよ。安野光雅さんが描くまよいみちの世界を、一緒に指でたどって進んでいってみよう。だれが一番にゴールできるかな。



安野 光雅/文・絵
福音館書店
2018年 ¥3000



鈴木 のりたけ/作
ブロンズ新社
2017年 ¥1200

けっこんしき おでこはめえほん 1

結婚式にいろいろな人が来ています。さあみなさんも式に参加しましょう。変わった形の本を開いて、おでこにあてて…。このアイデアにびっくり！家族で楽しめる本です。博物館バージョンもありますよ。



ビル・コッター/さく
サンクチュアリ出版
2017年 ¥980

ぜったいに おしちゃダメ？

この赤いボタンは絶対に押しちゃダメ！ボタンのことを考えてもダメ！でも、ダメって言われるとどうしてもそうしたくなっちゃう！君はそんな気持ちを我慢できる？親子で大騒ぎしながら、とっても楽しく読める参加型絵本。

ぱかっ

たまごさんを「ぱかっ」。ひよこさんが出てきました。今度はおべんとうさんを「ぱかっ」。おいしそうなおにぎり！じゃあ、わにさんやだるまさんを「ぱかっ」すると…？「ぱかっ」のたびに「にこっ」となれる絵本です。



森 あさ子/作
ポプラ社
2017年 ¥880

ピカピカヒーローせっけんくん



うえたに夫婦/作・絵
PHP 研究所
2017年 ¥1300

てのひらの町を、あばれる「よこれだん」から守るヒーロー「せっけんくん」！あわあわ基地から出動し、今日も町の平和を守ります。みんなも手がよこれたら、せっけんくんと一緒によこれだんをやっつけましょう！

ぼくのいちにちどんなおと？

生活の中には音がいっぱい。顔を洗う音、水遊びの音、ジュースを飲む音…。独特なオノマトペとダイナミックな立体表現が楽しい絵本。自分たちのまわりではどんな音が鳴っているか、耳を傾けてみましょう。



山下 洋輔/文
むろ まいこ/絵
福音館書店
2016年 ¥1400

よるになると

公園や河原など、いろいろな場所での生きものの昼と夜の様子が描かれています。昼は咲いている花が夜にはしぼんでいたり、夜に出てくる生きものがいたり、昼と夜を見比べて、違いを見つけるのも楽しいです。



松岡 達英/さく
福音館書店
2015年 ¥900



ジョン・クラッセン/作
長谷川 義史/訳
クレヨンハウス
2016年 ¥1800

みつくてん

二匹のカメが帽子を見つけました。どっちのカメにも似合う帽子、でも一つしかありません。見つけなかったことにする？でも、気になる。さて、二匹はどうするのでしょうか。大阪弁の語りが楽しい絵本です。



高野 文子/作・絵
福音館書店
2014年 ¥900

しきぶとんさん かけぶとんさん まくらさん

リズム感のあるおもしろい文章は、まるで落語のよう。毎日つかうお布団たちによく眠れるようにとお願する男の子。たのしいこたえが返ってきて…。寝るまえに読むのがぴったりの絵本です。

はなちゃんの はやあるきはやあるき

ひがしにほんだいしんさいのとき、保育園児が自分たちの足で津波から逃げながら高所避難したという実際のお話です。避難経路の確認や訓練など、自分で自分の命を守るためにできる備えについて、親子で話し合おうきかけとしてみたいかがでしょう。



宇部 京子/さく
菅野 博子/え
岩崎書店
2015年 ¥1300

おいしい ぼうし

家の前の木に引っかかっていた、こげ茶色で丸くて平べったくておいしいもの。おじいさんとおばあさんは、それをたらふく食べてしまいます。その晩、帽子をなくしたプリンが訪ねてきて…。甘い匂いがしてきそうな、かわいいおはなしです。



シゲタ サヤカ/作・絵
教育画劇
2013年 ¥1100